

## タウンミーティング記録 未来へつなごうふじみ野市

日 時 令和5年2月12日(日)午後2時～3時30分  
場 所 オハナふじみ野上野台ブロッサムミーティングルーム  
(オハナふじみ野上野台自治会)  
参加者 21人



### 主な意見等

参加者 小学生の子どもに卵アレルギーがあり、現在は学校給食で対応食を出していただいています。先日教育委員会から、中学校からはアレルギー対応ができないとの通知がありました。中学校からは自宅でお弁当の用意等をお願いしたいといった趣旨だと思いますが、他自治体では中学校でもアレルギー食の提供を行っているところがあるため、ふじみ野市でも中学校までご対応いただきたいです。

市 長 アレルギー対応については、私自身も対応食を提供したいという強い思いがあります。なの花学校給食センターでアレルギー除去食を提供しておりますが、いただいたご要望を伝え、現状を確認します。

参加者 子ども医療費の無償化について、18歳まで無償化を実施している自治体がありますので、ふじみ野市でも同様に拡充していただけないでしょうか。

市 長 子ども医療費の無償化については、私が市長に就任してから中学校3年生までの無償化を開始しました。18歳までの無償化については、県内では人口減少が著しい地域で競争するかのよう、現役世代の人

口流入を促す目的で多く実施され、最近ではそれ以外の地域でも目玉施策として実施している自治体があります。

現在私は、全国市長会の評議員を務め、財政委員会のメンバーでもあります。全国市長会の会長が医師であり、先日の会議において、子ども医療費の無償化は地域間競争ではなく国が子育て支援策の一環として行うべきだとの意見があり、私自身も同様に考えておりますので、18歳までの無償化の要望は、国へ伝えてまいります。

また、政策的に実行する際には財源的な裏付けを取ってからでないとできません。例えば学校へのエアコン設置についても本来は1年前倒しで着手できたところ、全小・中学校に設置するとなるとその分の電気代がかかるほか、設置後の電気代以外のランニングコストや老朽化した際の対応も考え、財源的余力をもって事業開始したいと考えたため、1年後ろ倒しで着手した経緯がありました。子ども医療費の無償化拡充についても、市単独で実施できるか、チャレンジすべき課題であるかと考え、多くの子育て世帯が望んでいると感じるので取組を進めて行きたいと考えています。

参加者 ふじみ野Fメールの防犯情報で、不審者情報について昨年ごろから「お子さんから相談を受けた際は、話してくれた勇気をほめ、お子さんの気持ちに寄り添い、話を受け止め、危険を感じた際の対処方法を一緒に考えるなどの対応をお願いします」という一文が入るようになりました。これはとてもいいことだと感じるので、今後もぜひ続けてください。

市長 お褒めの言葉をいただきまして、ありがとうございます。

参加者 マンション管理組合の副理事長をしています。国のマンション管理計画認定制度が昨年からはまりました。自治体がマンション管理適正化推進計画を作成していないと認定の申請ができない状況であり、ふじみ野市はまだ対応していないと思うので、ぜひ進めてください。認定を受けることで、マンションの資産価値が上がり、転入者増につながるなど市全体としてもメリットがあることだと思います。

市長 認定制度自体は存じ上げていましたが、確かにまだ市として対応は進

んでいないと思います。認定を受けることでマンションの資産価値が上がるというのは想像に難くありませんので、担当と着手の期間やかたちも含めて検討してまいります。

参加者 福岡中央公園側からの土埃がひどいです。数千万円の費用をかけて対応していただいたようですが、以前よりひどくなっており、1日おきにウェットシートで掃除をしても真っ黒になってしまいます。洗濯が干せないだけでなく、何より健康被害が心配です。

市の職員に現状を尋ねたところ、対応策は随時取っていると回答がありました。春ごろに芝生のようなものを植えていましたがそれも枯れて、相変わらず土埃がひどい状況です。砂も入れ替えていただいたようですが、それ自体も飛散しづらいものなのかもわかりません。大きな石を敷くなど、他の対応も検討してはいかがかでしょうか。

市長 市が発展する前は市内全域で土埃が多く、宅地開発が進み近年は少なくなりましたが、現在でも一部地域では土埃に悩まされているところがあります。

多額の費用をかけても状況が改善されていないのではないかとお気遣いいただきながら話していただき、ありがとうございます。担当課からは福岡中央公園に芝生より強い草を敷いたと聞いており、枯れてしまっている部分については今後対応していきたいと思います。砂については確かに今までは舞い上がりやすい砂だったため、順次入れ替えを行っており、現状でマンション敷地から道路に出る辺りの箇所を2月17・18日に行う予定で、その他の区域についても3月末までに部分的に実施する計画で優先順位を付けて進めております。

公園関連の話として、福岡中央公園は国有地であるため勝手に樹木を入れ替えることはできませんが、心配な樹木については樹木医による診断を行うなど適切に対応し、利用者に危険が及ばないように取り組んでいます。

参加者 市の将来構想や3か年計画を策定しているのを市ホームページで閲覧しました。さまざまな施策に取り組んでいると感じましたが、他自治体と比較してふじみ野市が「弱い」または「遅れている」と感じる部分はありますか。

市長 政策を検討する際、近隣市や類似団体と比較・検討しておりますが、特筆して弱いと感じている部分はありません。

また、特別に遅れているといった意識はありませんが、あえて他自治体と比較して申し上げるとすると、先ほどご意見を頂いた子ども医療費の拡充を行っている県内自治体が増えてきているため、そこは必要性を認識しはじめているところではあります。

また、学校給食費についても、現状は賄材料費を保護者の方に負担いただいております。低所得世帯については、給食費を支援しています。給食費の無償化について、現状では地域間競争になっていますが、本来であれば義務教育無償化の観点から、国として全国一律で進めてもらいたい部分であり、全国市長会の話題の1つにもなっているところではあります。

市民の皆さまからすると、足りないとお感じになる部分は多くあると思いますが、私としては平均的であると認識しております。

参加者 上福岡駅東口駅前に喫煙所が2か所あります。東武ストア側は囲いがあり、ルールは一程度守られていると感じますが、私有地の店舗前では、煙が公道に流れており、朝の通勤・通学の時間帯に通ると、ほとんどの人が通行人は煙を避けて通っている印象で、私自身も不快な気分を抱えながら通行しています。事業者任せると費用・時間ともにかかり、また、こういったルールの基にやるべきかがわからないと思うので、市が主導して分煙ルールを徹底していただきたいと思っております。

喫煙者の吸う権利も理解していますが、受動喫煙の問題のほうが重要なのではないかと感じますので、見解をお聞かせください。

市長 上福岡駅前の喫煙所については、市政への提案でも多くご意見を頂戴しているところです。歩行中の喫煙禁止エリアは定めておりますが、エリア内に喫煙所を設けるか否かについても議論があります。たばこ販売店はポイ捨てなどに対する配慮として店前に灰皿を置いているものの、結果としてそこに人が集まっている状況です。

東武ストア側の喫煙所については、たばこ産業のご協力をいただき市で設置したものであり、囲いはあるものの、利用者が多いと避けて通行される方がいるのが実情です。

今回ご指摘いただいたご意見は喜ばしいものであり、分煙のための場所を設置するに当たっては、周囲に害が及ばないように配慮したものでなければなりませんし、物理的にそういったものが設置可能か改めて考えるきっかけとなりました。喫煙者の立場にも配慮したかたちでご意見を頂戴しましたが、市に入ってくるたばこ税は5億円を超えており、喫煙者の一定の権利も守るのであれば、分煙のルールについて改めて議論を進めなければならないと感じております。

参加者 引越してくる際に初めて上福岡駅に降り立ちましたが、その際に駅付近のあちらこちらにたばこを吸っている人がいて、喫煙天国といった印象でした。今日の市長の説明を聞くと、現在、市は文化施設の整備などに力を入れ、文化の発信を進めているようですが、文化の街と路上喫煙は相容れないと思います。市のイメージを上げるには、駅周辺の印象を良くすることが大切であると考えており、私有地で難しいかもしれませんが、駅前のたばこ販売店にもう少し協力いただいたほうが良いのではないのでしょうか。

市 長 たばこ販売店としても、店前で吸ってもらうために設置しているものではないと認識しています。時代が変わり、愛煙家にとっても肩身の狭い時代にはなっていると思いますが、たばこが販売されている現状において、周囲に迷惑をかけずに喫煙するためには、駅周辺にスペースを用意する必要があるとも感じます。まちの玄関口として駅前のイメージアップは必要であると考えます。

タウンミーティングの場でこのような議論ができたことは、思い切った政策に着手するにはいいきっかけであり、ご意見を活かせるよう検討してまいります。

参加者 上福岡駅横の踏切について、高架化すると多額の費用が掛かることは理解していますが、アンダーパスやオーバーパスにしたり、東武鉄道と協議したりするなど通りやすい道路にするための検討を進めてください。

市 長 上福岡駅横の踏切による混雑については、多く市民の皆さまが感じておられることであり、本日午前で開催したタウンミーティングでも同

様の意見をいただきました。

合併前の旧上福岡市の頃から踏切対策は課題となっており、補助金が今よりも多く出る時代もありましたが、解消には至りませんでした。また、平成15～16年頃にアンダーパスの計画が検討されたことがありましたが、事情により進みませんでした。

今後アンダーパスの計画を立てるとなると、100億円以上の経費が見込まれます。多くの市民の皆さまが望まれていることは理解していますが、本事業は100年先を見据えて検討する事業であり、今後人口減少等で車社会が変化していく可能性もあります。また、なにか大きな特例がない限り、100億円という経費を考えた場合、今後医療費や介護給付費が増えていくなどの実情を考慮し、政策の優先順位を考えると、着手が難しく感じるところです。

私としては、人が通行できるような地下道のようなものが将来的には必要になるとも感じています。

参加者 ふじみ野市のふるさと納税は、流出額の方が多いのですか。

市長 本市は他自治体からの流入人口が多いこともあり、故郷へふるさと納税をする人が多いとみられ、市への寄附は少ない状況です。全体で見ると、ふるさと納税による市外への流出は年間約2億5,000万円であり、それに対して市への歳入は最大2,000万円程度となっていますが、減少分について差額は発生するものの、大部分は地方交付税で補填される制度になっています。

特別な特産品が少ないなか、担当課は工夫を凝らして進めています。例えば、市内のバイオリン工房や市内居住のゲームクリエイターの方に協力いただいております。最近では100万円の返礼品を企画し、実際に寄附を獲得しています。今後も戦略的に頑張っていきたいと思います。

参加者 イオンの郵便局前の横断歩道で何度か危険な思いをしています。信号機設置の予定はありますか。

市長 埼玉県警としては横断歩道で一時停止しない車の取り締まりを強化しており、ご指摘いただいた場所も重点エリアになっています。信号機が設置されれば、より安全になると考えますが、信号機の設置につい

ては、県の公安委員会において間隔に関する一定の基準があり、規定により増設が難しい箇所が多くあります。また、富士見市、三芳町との東入間警察管内で、年間1カ所増えるかどうかという現状です。上野台小学校付近とイオンタウン入口付近に信号機がある現状から鑑みると、該当箇所に設置の可能性は比較的低いと思われます。近隣に保育所もあり、上野台の自治組織からも要望があったため、黄色い横断旗を設置したところですが、要望が多い場所ですので、市としても引き続き要望は続けてまいります。

#### タウンミーティング後に追加された意見

参加者 教室における換気的重要性については、文部科学省も通達を出すなど、対策の徹底が求められています。市でも教室の換気について対策を講じているようですが、まだ徹底されていないと感じています。換気対策が徹底されるまでは、マスク着用も含めた基本的な対策の徹底をお願いします。

(担当課) 新型コロナウイルス感染症対策につきましては、国や県の通知に基づき実施しております。令和4年度の学校教育活動につきましては、従来通りの対応となっておりますので、教室内の換気やメリハリのあるマスクの着用を指導してまいります。

また、様々な事情により、マスクの着用を希望したり、マスクを着用できない児童生徒もいることなどから、学校や教職員がマスクの着脱を強いることのないよう指導してまいります。

卒業式の対応につきましては、国や県の通知に基づき、参列している保護者を除き、式典全体を通じてマスクを外すことを基本といたします。

国歌や校歌の場面や呼びかけの場面では、マスクを着用させるなど、一定の感染症対策を講じます。また、効果的な換気の実施や咳エチケットの推奨、手指衛生など、必要な感染症対策を講じた上で、卒業式を実施いたします。